

超軽量・分解型ボーリングマシン

弊社では、機材の搬入が困難な山地や河岸部、搬入・仮設が制限された市街地狭隘地などでのボーリング調査に対応できる小型ボーリングマシン(超軽量・分解型ボーリングマシン)を新たに導入致しました。

このボーリングマシンは総重量が159kgと軽量、かつ7個口(最大分解重量26kg)に分解できますので、背負子を使った人力運搬が可能です。機材運搬のためのモノレール等の仮設に過大な費用を要する現場で費用対効果の面から見送られることもあった深度15m以下の調査ボーリングの実施に新たな道を開くものとして期待されます。

搬入条件が厳しい箇所でのボーリング掘進にあたっては、深度5m程度までなら簡易ボーリング、掘進深度10~15m程度までの浅尺ボーリングなら小型ボーリングマシン(超軽量・分解型ボーリングマシン)の活用をご検討下さい。

弊社では、お客様のあらゆるニーズにお応えするため、今後とも多様なボーリングツール・スキルをご提供して参りますのでご用命頂ければ幸いです。

超軽量 分解型 ボーリングマシン YHP-1



<仕様>

- 穿孔能力：呼称深度 10m
- エンジン出力：5.5kW/2,000min⁻¹
- 排気量：30.8cm³
- スピンドル内径：43mm
- スピンドルストローク：500mm
- スピンドル回転数：高速220~440min⁻¹ 低速110~220min⁻¹
- 寸法：横740mm×縦1,030mm×高さ1,525mm
- 重量：159kg (最大分解重量：26kg)

※(株)ワイビーエム社 製品パンフレットより資料転載

超軽量・分解型で人力運搬可能

総重量が159kgと超軽量かつ最大で7つのパーツ(最大で26kg)に分解することもでき、背負子を使えば人力で運搬することが可能です。

人が歩いて行ける場所ならどんな場所でも搬入できますので、機材の搬入が困難な山地や河岸部や搬入・仮設が制限された市街地の狭隘地などの調査に力を発揮します。

調査に広いスペースは不要!

超軽量・分解型ボーリングマシンYHP-1は74cm×103cmととてもコンパクトなサイズなので、調査地点が狭くてもだいじょうぶ。畳1枚分のスペースがあればマシンを据えることができます。

また、足場仮設も不要なので機資材が少なく、調査に広いスペースを必要としません。

高品質なサンプリングを提供

機械の能力としては通常の機械ボーリングと簡易ボーリングの中間に位置しており、高品質のサンプリングが行えます。

ケーシングを立て込んだ掘削もできますので、地下水位の高い場合や砂礫層などの崩壊しやすい地層など、地盤条件が難しい現場への対応も可能です。

またスピンドルの回転数が早いため、岩盤や玉石が混入するような硬質な地盤の調査にも対応できます。

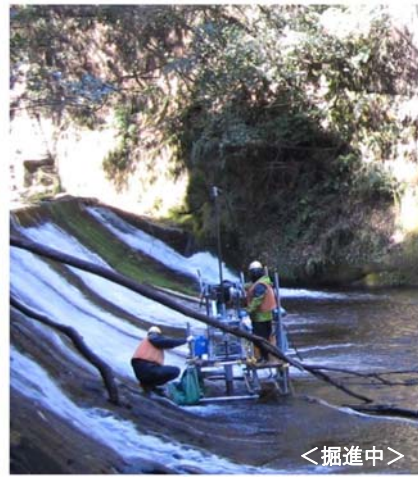
標準貫入試験も出来ます!

付属の標準貫入試験もセットで装備していますので、深度10~15mまでの浅尺ボーリングであれば1台で掘削から標準貫入試験まで対応することが可能です。

作業風景



＜設置状況＞



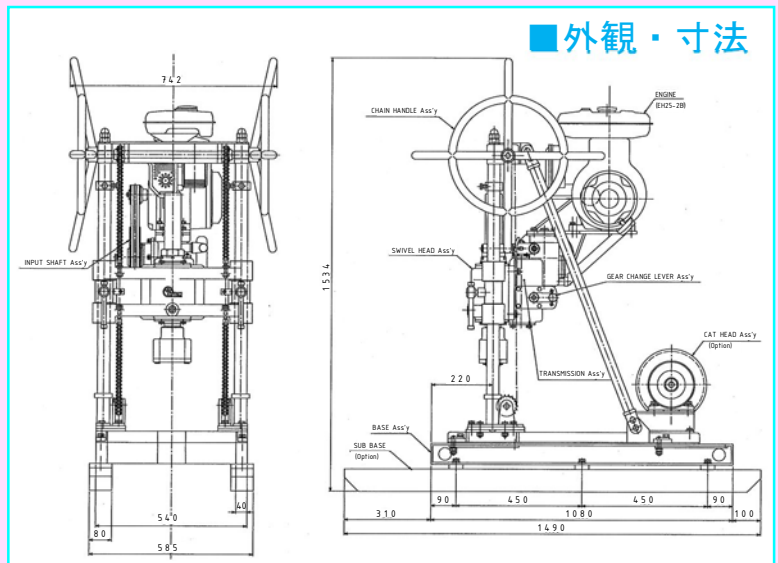
＜掘進中＞



＜掘進中＞



＜設置状況＞



■外観・寸法

ご提案

◆道路のない山頂部の構造物基礎確認に

ボーリングマシンの搬入が困難な山頂部での鉄塔調査などに適しています。
深度10.0～15.0m程度のボーリング調査にご利用下さい。

◆河川堤防の表層土質の確認に

ボーリングマシンの搬入がやや困難な堤防法尻付近での浅層ボーリングに適しています。
地下水位が高い場合でもケーシングを立て込んで掘削が可能です。

◆グラウト工事のサンプリングに

グラウト工事の効果確認のための試料のサンプリングにも適しています。

◆住宅密集地の地盤調査に

103cm×74cmと畳一枚のスペースでマシンの据付が可能です。また7つのパーツに分解して運搬することが出来ますので、運搬・搬入が困難な狭隘地や住宅密集地での宅地地盤調査でも威力を発揮します。

「超軽量・分解型ボーリングマシン」について、ご質問等がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

＜担当:工務部 門久＞



ヤシマ カイハツ
八洲開発株式会社

〒862-0920 熊本県熊本市東区月出1-1-52
TEL:096-384-3225 FAX:096-382-7039
URL:<http://www.yashima-geo.co.jp>